# Word

## 標準

スタイル

背景色 → 罫線と網掛け

左端の点 → 段落 → 改ページと改行 → 次のページと改行しない　チェックを外す

### 見出し下の余白

見出しのプロパティの段落、段落後の余白

### 赤の波線

ファイル → オプション → 文書校正 → この文書のみ、結果を表す波線を表示しない

ヘッダー・フッター

挿入 → ヘッダー（フッター） →  →

ページ番号を入れたい時は：挿入 → 　でも良い

## 画像ファイル関連

### 行内に小さな画像を使用したい場合

通常の方法で画像をワード内にコピー → 画像の「レイアウト」を「行内」にしておく

→ 対象の文字列を選択して Wordメニュー：ホーム → 段落：体裁 → 文字の位置を「中央揃え」にする

## 目次

### 目次対象の範囲を選択する

１　任意の範囲を選択状態にする > メニュー：挿入 > ブックマーク > 追加

２　ブックマーク名を入力 > 追加

３　目次を作成し、目次を選択状態に > Alt + F9 > {TOC…} の最後に ¥b my\_bookmark を追加。

４　もう一度Alt+F9で元の表示に戻す > 目次を更新

注意点

編集はできないので、ブックマークを一度削除して再度作成する。

## おせっかい機能対策

### 先頭を勝手に大文字

「オートコレクト」機能の為。これをオフにする。

メニュー：ファイル → オプション → 文書校正 → 

## 表

### 行の高さ調整

段落 → 「１ページの行数を指定時に文字を行グリッド線に合わせる」のチェックを外す

## 応用

### 段組

文章を横方向に7:3と言ったレイアウトで分割する。

作成

レイアウト →  → 1段／２段／３段

段区切り

レイアウト → 　→ 段区切り

## 各種ファイル読み込み

### pdf

メニュー：ファイル →  → .pdfファイルを開く　で普通に開ける。

（補足）pdfのテーブル → エクセル　は直接変換はできないが，Wordを経由する事で対応可能。

上の開き方で.pdfファイルを開く → 対象のテーブルをコピー → エクセルを開いて普通にペースト

# Outlook

## 連絡先

### 概要

表示名 メールを送る際のTo: に用いられる　**※相手にも表示されるので注意！**

表題 連絡先を表示するときに見出し。デフォルトでは [性][名]

### 新規作成

メニューから

ホーム →  新しいアイテム → 連絡先

受信メールから登録

アドレスの上にマウスをホバー → ポップアップの 　をクリック → 追加

※表示されるフォームが大分異なるので困惑する

### 詳細編集

ホーム → → [人を選ぶ] → 右クリック → プロパティ

補足：

 → [人を選ぶ] → 編集 だと、設定項目がめちゃくちゃ少ない。

## 添付ファイルの規定の保存先

レジストリを追加する

\HKEY\_CURRENT\_USER\SOFTWARE\Microsoft\Office\16.0\Outlook\Options

名前：DefaultPath （「キー」はフォルダを表す点に注意）

型 ：REG\_SZ（文字列値） 値 ：C:\download\Outlook などの任意の値

# PowerPoint

非表示スライド

ナビゲーションウィンドウを右クリック→非表示スライドに設定

# Excel

## データベース関連

### DBへの接続

なお、同じDBの別テーブルにアクセスしたい場合は：

データタブ→外部データの取り込み→既存の接続

# Access

## ODBC とOLE DB

### ODBC

Open Database Connectivity

リレーショナルデータベース（Sql Server、Oracleなど）にアクセスする為のプロトコル。

もともとクライアント／サーバー型でないmdb向き。具体的な指定が必要。

.NET ではSystem.Data.Odbc.OdbcConnectionを用いる

### OLE DB

Object Linking and Embedding, Database

リレーショナルデータベースと非リレーショナルデータベースの両方。 （Oracle、SQL Server、Excel、RAWファイルなど） 変化に柔軟。

SQL Server2014以降では更新されず、ODBCに回帰する方向。それほど上手くできていない？

.NET ではSystem.Data.OleDb.OleDbConnection を用いる。

## データ型

データ型 説明 サイズ

テキスト型 文字列。計算する必要がない数字にも使用。 最大255文字

メモ型 注意や説明など、長い文字列または数字に使用します。 最大65,536文字

数値型 数値型 計算で使用する数値データに使用します。ただし通貨の計算には使用できません (通貨の場合は、通貨型を使用します)。 1、2、4、8、16バイト

日付/時刻型 日付と時刻に使用します。 8バイト

通貨型 通貨の値に使用します。および数値データが格納されます。計算時に丸めによる誤差が生じないようにします。 8バイト

オートナンバー型 連続番号か乱数が自動的に挿入。連続番号は、1 から。 4又は16バイト

Yes/No 型 True/False、On/Off など。Null 非許容。 1ビット

OLE オブジェクト型

OLE プロトコルを使用してほかのプログラムで作成されたバイナリデータ。Word、Excel、画像、音声など。最大1GB。ディスク容量にもよる。 最大1GB。ディスク容量にもよる。

数値型の詳細

種類 説明 小数の精度 bytes

Byte 0 ～ 255 なし 1

Decimal B 28 12

Integer 説明 なし 2

Long -2,147,483,648 ～ 2,147,483,647 なし 4

Single 7 4

Double 15 8

レプリケーションID GUID 16

## 複数の項目の選択

フォームではListBox で実装できる。対応するデータ型

## Foreign Key

アクセスでは「リレーションシップ」と呼ぶ。

表示：データベースツール → リレーションシップ。

foreign key 親テーブル(…) のような文字列指定ではなく、テーブルを表示させてから関連付けるというGUIにこだわったクソ仕様。

一側（１）：マスタ側。新規レコードを追加できる。

多側（∞）：スレーブ側。マスタにないレコードを選択する事はできない。

フォームではListBox で実装できる。対応するデータ型

## フォーム

### コントロールウィザード

### プロパティ

Name その他タブ｜名前

Text 書式タブ｜表題

### イベント

VBA でコードを書く。

### ビュー

以下の方法で変更する事もできる。

レイアウトorデザインビュー　右クリック→フォームのプロパティ

### コンボボックス、リストボックス

値集合ソース クエリで選択候補を書く。

e.g. SELECT userTable.name FROM userTable, userTable AS userTable\_1;

※最後になったフィールドの値を取得している？

・項目名の表示を変更する

列数：書式｜列数 → ２項目以上を並べて表示できる

レイアウトビューでコンボボックスを選択

→ プロパティ：データ｜列連結　でsql でselect した列番号を指定する。

・複数の項目をコンマで

https://support.microsoft.com/ja-jp/help/827423/how-to-retrieve-the-selected-items-in-a-multiple-selection-list-box-as

→ VBA を用い、他ユーザーによる更新の扱いなので、この方法は避ける 18.09.04

・列見出し

書式|列見出し　[はい]

## 共有

・5人くらいまでのアクセスならば大丈夫？

・ちゃんとしたシステムを作るまでのテストラン的。

ファイル→オプション→クライアントの設定：共有モード

### ファイルが開けない問題

@18.08.29

イントラではなくインターネットの扱いになると１アクセスしかできないらしい。

インターネットオプション → セキュリティタブ→ローカルイントラネット → サイト

→ 詳細設定 → このWebサイトをゾーンに追加する [10.4.1.51 ]

レジストリ：

HKEY\_CURRENT\_USER\SOFTWARE\Microsoft\Windows\CurrentVersion\Internet Settings\ZoneMap\Ranges\Range1

レコードロック

レプリケーション

### バックエンドデータベース

エンドユーザー向きのフォーム・レポートのみのファイルと、実際にレコードを保管するテーブルのみのファイルを分ける事ができる。

下の２通り：

・データベースツール・タブ｜[データの移動]Accessデータベース

・ナビゲーションウィンドウのテーブルの範囲を右クリック→インポート or

外部データ・タブ｜Access → 「データのインポート元と…」ダイアログボックスで、「リンクテーブルを作成して…」ラジオボタンを選択。

## プログラミング共通

・フィールドの名前を DateTime など、型名と完全一致させると不具合がでる。

→ 18.09.13 DateTimeの値を含むInsert クエリがエラーを連発した。

## VBA

### 設定

・セキュリティの警告

ファイル → オプション → セキュリティセンター → セキュリティセンターの設定

→ マクロの設定

### 基本（VBA標準）

#### メソッドの呼び出し

Call メソッド名 ※() が要らない　引数はどうすんの？18.08.28

#### 文字列操作

・Mid e.g.： trimed = Mid(“12345”, 3, 2) ⇒ 結果：34

・Re

#### その他

Debug.Print　：Console.WriteLine のようなもの？

### データベース関連基本

・部分ビューの抽出フィルター

Me.Filter = “フィールド名=’値’ ”

※日付は##

・フィールドに値を代入

・VBA によるレコードの更新

Dim rs As DAO.Recordset: Set rs = Me.RecordsetClone

rs.Edit

※ただ、他者によるレコードの更新と同等の扱いになり、使い物にならない。

・SQL の実行：未確認、しかもかなり怪しい

Dim db As DAO.Database

Set db = CurrentDb

Dim mySql As String

mySql = "UPDATE T01Prefecture2"

db.Execute mySql, dbFailOnError

### 配列

・配列の動的生成　配列変数の生成→要素数の指定　という２ステップ

Dim items() As String

ReDim items(Me.list\_targetUser.ItemsSelected.Count)

### イベント

・レコード移動時

プロパティ：フォーム｜レコード移動時　Form\_Current()

（参考）http://www.geocities.jp/cbc\_vbnet/kisuhen/Event.html

## .NET

通常のobject との変換のネックはデータ型

### Command

UPDATE データの更新

e.g. "UPDATE tableName SET field1=value1, field2=value2… WHERE id=1"

注意！！ where がないとテーブルの全レコードが書き換えられてしまう。

全フィールドの記載が必要なわけではない。更新するフィールドだけで問題ない。

INSERT レコードの追加

e.g. “INSERT INTO tableName(field1,field2…) VALUES({‘value1’, ‘value2’…})”

※primeryKey なしでinsert しても正常に終了するらしい。

ALTER フィールドの追加や削除

DROP テーブルの削除

### VALUES

・ 各値の ‘’ はあってもなくても良いらしい。 →文字列には必要な事が判明 18.09.13

・DateTime型の場合は ## で値を囲む必要がある e.g. #2000/12/31#

・コマンドの際のフィールドの数と、引数の数が一致していないとエラーになる。

別のパラメータ指定方法

var oleDbParam = new System.Data.OleDb.OleDbParameter("propName", val.ToString());

command.Parameters.Add(oleDbParam);

ただ、面倒な上にどうやって使うのかが分からない 18.09.13

## 参考資料

MSDN：アクセス

https://docs.microsoft.com/ja-jp/office/client-developer/access/access-home